

市民生活の向上めざし

稲城駅の駐輪場の増設等について



岡田 議員

問 駐輪台数を増やす取り組みが必要と考えるが、認識は。

答 市が管理運営をお願いしている公益財団法人自転車駐車場整備センターにおいて、稲城駅北口バイク駐車場を含めた台数割合の変更や、利用しやすい自転車ラックへの改修を本年度中に行う予定としており、駐輪可能な台数を増やしていく。

問 駐輪台数を何台増やせる予定なのか。京王電鉄や京王不動産に駐輪台数を増やす取り組みを求めるべきと考えるが、認識は。また、稲城駅の南口などにも駐輪場を整備するべきと考えるが、認識は。

答 現状より約50台程度増加が見込まれると聞いている。事業者に現在の状況を伝え、自転車

等駐車場の設置や増設などに協力いただけるようお願いしていきたい。また、稲城駅南口への設置については、今後のまちづくりの動向や自転車の利用状況などについて引き続き注視するとともに、まずは必要に応じて、既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。

問 一時利用の台数が増えるという理解でよいのか。また駐輪台数が増えるのはいつと予定しているか。

答 一時利用として増加が見込まれるものと聞いている。また、改修工事は本年度中に行う予定と聞いている。

小中学校の生理用品の置き場所について



田島 議員

問 児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、また、ジェンダー平等、女性の健康・人権に関わる問題として、生理用品を女子トイレに設置することを求めている。当市議会でも生理用品をめぐる問題はテーマに何度も上がっている。また、全国の公共施設で、生理用品をトイレに設置したり、無償配布したりする取り組みが広がっている。したがって、学校のトイレに生理用品をトイレットペーパーと同じように置くことは、一般的な政策となっている。学校長の判断で生理用品を女子トイレに設置している学校はあるか。

答 市立小中学校において学校長の判断で生理用品を女子トイレに設置している学校はない。

問 教育委員会として学校のトイレに生理用品を設置するための方針や行動計画を持つべきと考えるが、認識は。

答 各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考えているため、教育委員会が生理用品の設置場所に関する方針や行動計画を策定することは考えていない。

問 市として学校トイレに生理用品を置くという統一した方針を持つ必要があると考えるが、認識は。

答 繰り返しになるが、各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考えているため、教育委員会が統一した方針を策定することは考えていない。

バス利用者への取組について



つじ 議員

問 稲城駅から市役所や市立病院までの延伸については。

答 稲城市地域公共交通会議で決定した「バスの新ルートである南多摩駅から稲城・府中メモリアルパーク路線において、稲城駅から市役所および市立病院までの運行を予定している。また、「コミュニティバス第3期見直しにおける見直し方針に基づき、路線バス事業者に対し、稲城駅が終点となっている路線バス系統の市役所への延伸や、新百合ヶ丘駅から市立病院の路線の増便または稲城駅止まりとなっている系統の延伸を要望している。

問 路線バスの今後の方向性は。引き続き、事業者に対し、稲城市地域公共交通会議などに

において、既存路線バスの増便や延伸の要望を継続して行いたい。これに対し、事業者からは、運転手不足の状況は、採用などに工夫をしても劇的に状況が変わっておらず、バス事業者全体の運転手確保状況などを見極めた上で検討したいと聞いている。

問 稲城市立病院経営強化プランに市立病院の通院の利便性を高めるとあるが、考え方は。

答 新たな患者の獲得を目的に掲げたもので、無料送迎便の実施に向けた検討にあたり、具体的な内容については、「バス第3期路線見直し作業、事業者に対する増便および延伸の要望の状況などを踏まえて、庁内関係部署と調整を行いながら、総合的に判断していく考えである。

稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多摩3・4・16号稲城南多摩線における交通安全対策について



佐藤 議員

問 ジャイアンツタウンスタジアム開業により、車や人の流れにおける問題や課題などが生じたか。また、対応や対策は。

答 市は、ジャイアンツタウンスタジアム来場者に限定しての交通渋滞とは言えないが、よみうりランドのイベントの開催などにより、一時的な交通渋滞が発生しているものと認識している。多摩中央警察署に確認したところ、ジャイアンツタウンスタジアム来場者が横断歩道を利用せず道路を横断するため、警備員を配置し、横断歩道を横断するよう呼びかけなどの対策を図るよう、読売グループに指導を行ったと聞いている。市でも、多3・4・16号稲城南多摩線のみならず、多3・4・12号読売

問 実施のスケジュールは。

答 交通安全対策工事は、令和7年度中の工事完了を目指し、取り組んでいる。信号機設置の要望は、毎年度、市長自ら多摩中央警察署を訪問し、署長に直接要望している。令和7年度も、本交差点を含め、令和8年2月に多摩中央警察署長に直接要望する予定である。

地域別将来推計人口を踏まえた稲城市の課題について



中田 議員

問 自治会の役員が高齢化し、転入増により住民が増えても加入率は低く、活動の担い手は不足しているが、認識は。

答 自治会活動の担い手の負担軽減を目的にデジタル化が有効であると考えている。

問 災害時において支援を必要とする災害弱者は増える一方で、役員も高齢化が進み、地域による助け合いの活動の実効性担保が難しくなっているが、認識は。

答 自主防災組織による助け合い活動の現状については、さまざまな課題があると認識している。また、自主防災組織の活動の紹介などの動画を作成し、市ウェブサイトや自主防災組織への周知や、各自自主防災組織の要望に合わせた防災訓練などの実施、自主防災組織本部長会議などにおいての情報交換など、持続可能な共助の取り組みを推進している。

問 若者の数が少なく、負担の大きい役割を背負わされてしまふなど、持続可能な体制にならないことが課題と考える。災害時には、若者が駆け回り、安否を確認する印象があり、ICTなどを活用した効率のよい方法が必要だと思うが、市の認識は。

答 まずは自助として、できる限りの行動を実践してもらうことが極めて重要であると認識している。ICTなどを活用した安否確認は、有用と考えるが、災害時の通信インフラが断絶する可能性や、個人情報管理と訓練が必要だと考えている。



▲市防災訓練にて自主防災組織が行った炊き出し訓練の様子